

森下町自治会

IT化を手段とした効率的な 自治会運営

～自治会への理解促進と防災活動の効率化に向けて～

この資料は、受講生が地域デザインカレッジのプログラムの中で考えた企画を発表用にまとめたものです。自治会や町内会が組織として作成したものではありませんのでご了承ください。

2023.12.23 地域デザインカレッジ 資料

笹本 和宏

1. エリアの特徴

Research

◆森下町エリアの特徴



- 静岡駅南口から東に徒歩5分
森下小学校を含む小さなエリア
 - 事業所などが多く立地する商業エリア
事業所: オフィスビル, ホテル, 専門学校,
予備校, 施設, 駐車場, CVS など
 - 自治会会員は戸建て11戸集合住宅 6棟
うち 4棟は 賃貸集合住宅
 - 一般世帯加入率(事業所除く)は100%
※ 集合住宅は管理会社一括支払い
➢ 集合住宅居住者の加入意識は薄い
- ◆  事業所
◆  戸建て住宅
◆  集合住宅

3. エリアの人口

Research

◆年代別人口構成と居住期間別人口割合

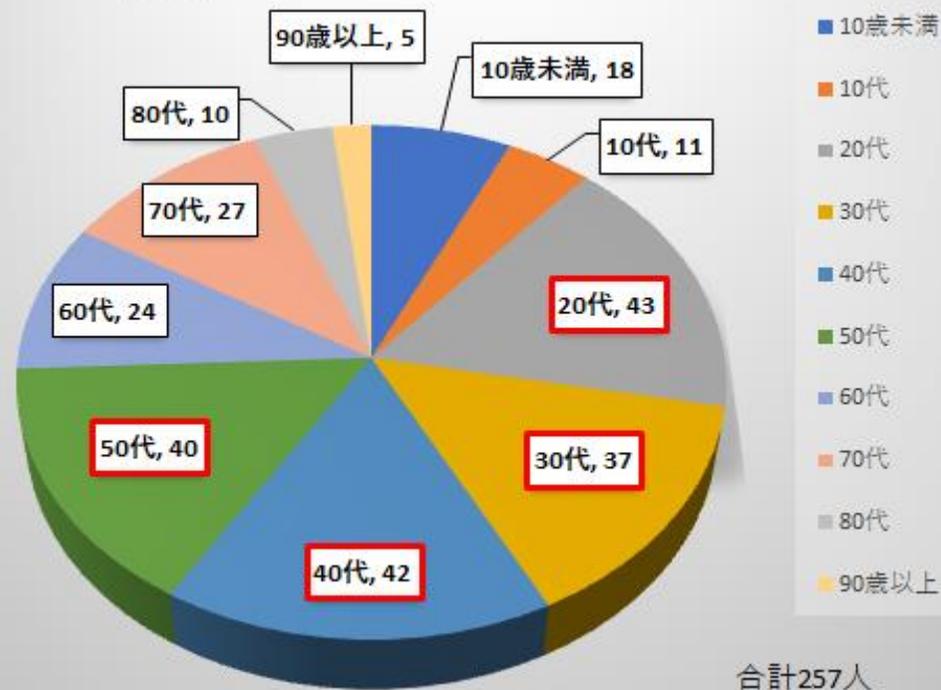
①人口構成

20代から50代の世代が多い

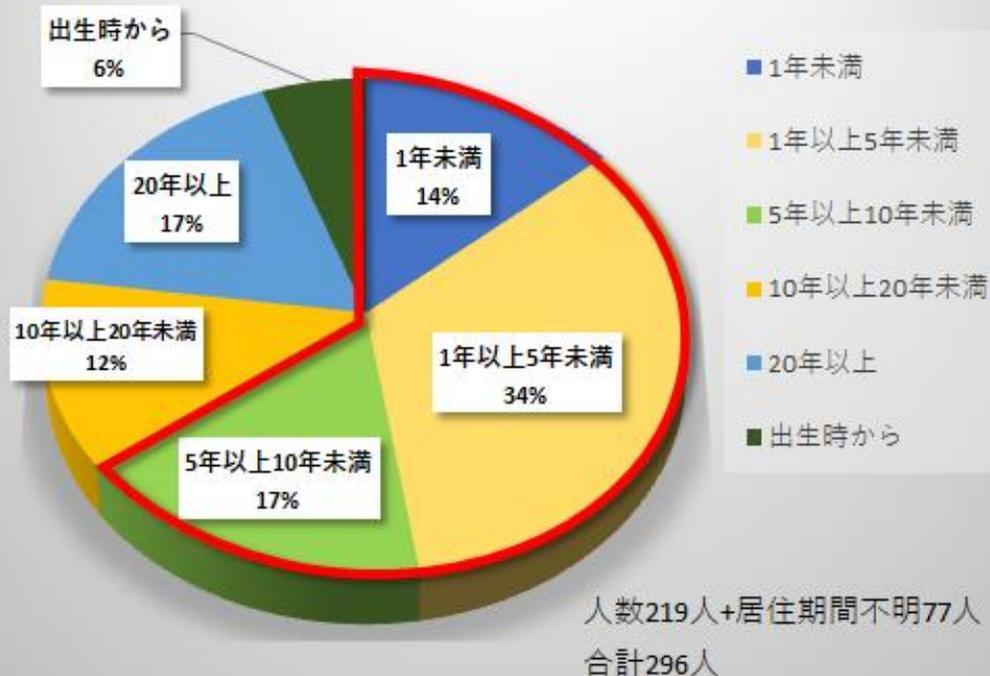
② 居住期間別人口割合

1年以上5年未満は34%と最も多い
10年未満居住者が65%を占める

①人口構成



② 居住期間別人口割合



4. 自治会

Research

◆自治会の実態（一例）

- ◆ 連絡文書のやり取り ➤ 郵便受けに投函 + 電話による説明
- ◆ 回覧板 ➤ 期限を過ぎてしまった案内が散見
- ◆ 防災訓練 ➤ 訓練日直前の安否確認手順説明訪問
- ◆ 連合会等からの参加要請 ➤ 対応者 三役 主に会長
- ◆ 役員の仕事 ➤ 組内へ回覧板と広報を配布のみ



- 非効率的な運営
- 地域住民に正確でタイムリーな情報が届いていない
- 地域住民とコミュニケーションが取れていない



地域住民から認知されなくなる？ 📞 なにか良い方法・対策はないか

5. 分析のまとめ

Research summary

◆ Research から分かったこと

- ▶ 非効率な自治会運営
 - ▶ 情報の発信・収集に課題
- 自治会 ⇄ 会員

自治会は何をしている？

- ▶ 賃貸世帯が多く、約7割が賃貸世帯
- ▶ 一人暮らしの世帯が75%
- ▶ 20代～50代の世代が多く住んでいる
- ▶ 居住期間は短い
(10年未満65%, 内 5年未満48%)

独身の一人暮らしや単身赴任が多い？

自治会に関心を持たない？自治会の活動を知らない？

6. 理想の姿

Goal image & Plan

◆わたしたちが目指すところ

IT化による

- ・ 効率化
- ・ 若い世代にアプローチ
→理解者・応援者 増
- ・ 電子回覧板導入

■森下自治会 活動目標

※目標、当面の目標については環境等の変化や進捗状況、制約条件によっては柔軟に変更すること

目標

- ・ 多くの会員からサポートされ運営されている自治会
- ・ 役員がいつ交代しても誰でも運営できる自治会

当面の目標

- 1. ① 高齢者のリスト化及びバージョンアップ
- 2. ③自治会活動のリスト化（将来的な引き継ぎ書の作成）
- 3. IT化 ④電子回覧板の導入(安否確認システム含む) ⑤会計帳簿の電子化
- 4. ⑥自治会応援者の募集

時期

- ①今年度中
- ③令和5年 その後随時更新
- ④⑤令和5年度
- ⑥電子回覧板発行後随時

そのためには（具体的なやるべきこと）

- ①静岡市避難要支援者名簿と現時点で把握している情報を確認しリスト化
- ③活動の洗い出し及び整理・検討 明確化してリスト化
 - ⑦将来的に自治会活動の紹介として会員に発信、引き継ぎ用資料として活用
- ④⑤電子回覧板・電子会計帳簿の情報収集（他自治体、自治会、静岡市等）、導入の可能性の検討及び予算積算、令和年度総会に提案
- ⑥自治会活動の理解促進を図る活動周知方法の検討 IT化以前にできることの検討

時期

- ①今年度中早期に
- ③リスト化 令和4年度中
- ⑦電子回覧板導入後
- ④⑤情報収集
令和5年2月まで
- ⑥活動周知方法検討
電子回覧板導入まで

令和4年12月16日作成

スポット

7. わたしたちが取り組んできた活動 1

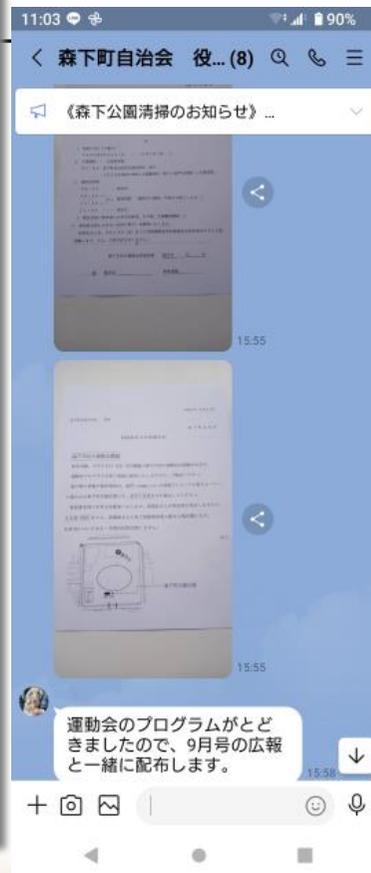
Action

令和 4年12月

◆ LINEの導入 12月



・三役・役員に導入



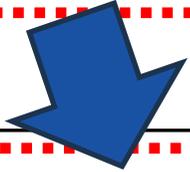
文書のやり取りや伝達に掛かる時間が大幅に改善

7. わたしたちが取り組んできた活動 2 Action

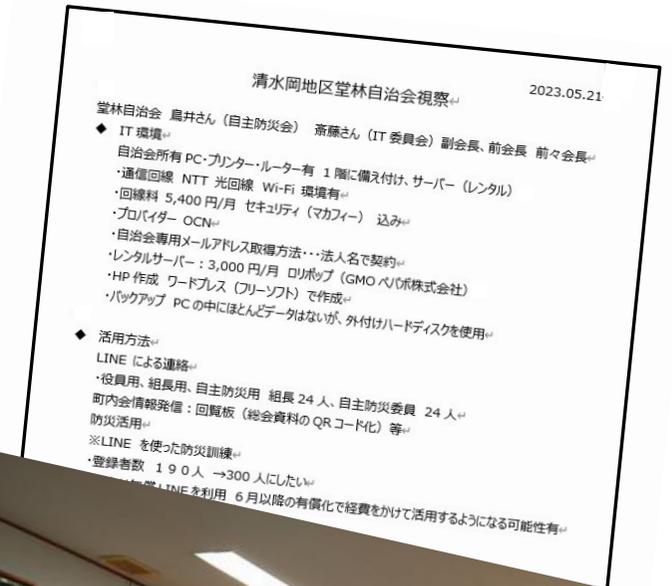
令和 5年4月～5月

◆ 総会 4月

- ・活動目標
- ・IT化予算 の承認



◆ 堂林自治会視察 5月



IT化を進める上でとても参考となった視察

7. わたしたちが取り組んできた活動 3 Action

令和 5年6月～10月

◆ モバイル通信環境の構築 6月～10月

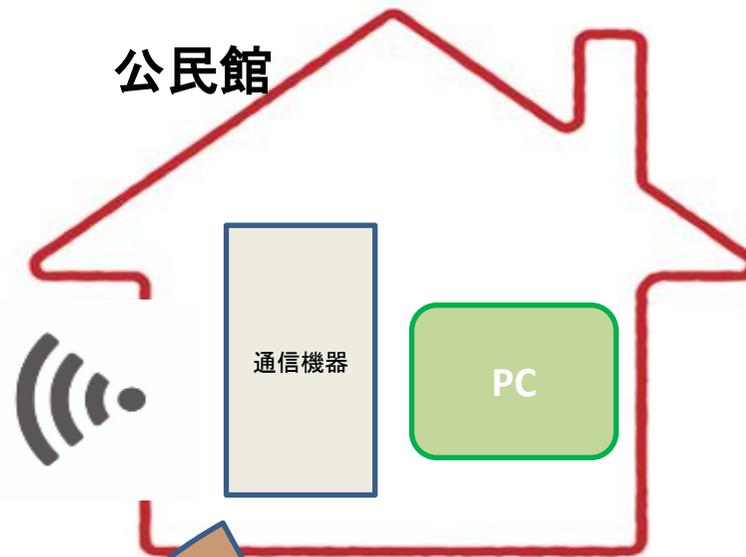
防災資材として購入したノートパソコン



持ち出せる通信機器



公民館



災害時に避難先でも使えるモバイル環境



公民館以外の場所

7. わたしたちが取り組んできた活動 4 Action

◆ 情報発信ツール開設 10月末

◆ 発信している情報 現在

目的

- ・情報発信による活動周知
- ・若い世代等へのアプローチ



LINE公式アカウント

- ・タイムリーな情報提供
- ・自治会活動の周知



7. わたしたちが取り組んできた活動 5

Action

令和 5年11月

◆ 活動報告会 と会員へのLINE周知 11月

参加者にメンバー登録していただいた 活動報告会



自治会の活動



会員各位、

森下町自治会 LINE 公式アカウント はじめました

日頃は、自治会活動にご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。

さて、森下町自治会では会員の皆様への情報の提供と効率的な運営を図るため、IT 化の検討をまいりました。そしてこの度、試験的に LINE 公式ページを開設いたしました。

LINE 公式ページでは、随時自治会からのお知らせを配信していく予定です。

また本格的な運用にあたっては、WEB 回覧板や、広報メッセージ、災害・防災訓練時の活用などを想定しています。

どうぞこの機会に下記 QR コードからお友だち登録をしていただきますようお願いいたします。なお、ご登録いただきました皆様のお名前などの情報やお友だち同士のご連絡先はお互いわかりません。また、このメッセージに返信はできませんのでご注意ください。



チラシは11月中旬 全戸に配布済み

2023.11.3
森下町自治会
活動報告と新たな取り組み 情報発信

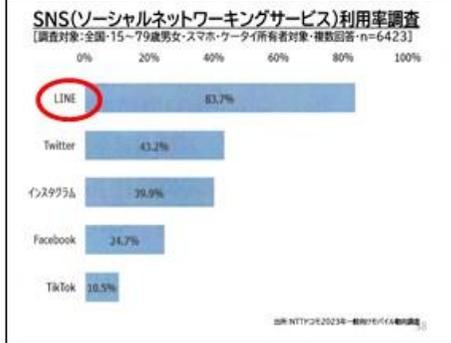
8. 次のステップに向けて

Check & Next Try

◆振り返り

1. LINE公式を選んだ理由 効果的な情報発信ツール LINE

情報周知の主なデジタル技術利用率



主なデジタル技術の年代別利用率



デジタル機器の情報発信の利点

- 登録者に同時配信⇒タイムリーな情報が得られる
- 情報が手元にのこる
- 見たい時にいつでも見ることができる

課題: 広報・回覧板や安否確認

実感

2. LINEによる効果

- LINE公式登録者数 現在 43人
- 自治会活動サポートの申し出 1名あり
- 利用者の声

→情報を早期に入手、スケジュールに生かしたなど

課題: 登録者のさらなる増・発信内容検討

◆今後の計画

✓ 自治会の理解促進

- 自治会活動応援者の募集発信

✓ HPの開設

- 広報・回覧板の配信

(LINE公式からアクセス)

✓ ITを利用した防災活動・地域

情報発信・安否確認

- 静岡市DX関係部署などと連携

した防災情報の構築